



Vol.11

2015年3月発行



あぶくまは、国道399号線をつながる5市町村、飯館村、浪江町津島、葛尾村、田村市都路、川内村の元気を発信する協議会です。都路は、国道399号線が国道288号線と離合する地域です。ここでおこなわれているふたつのお祭りについて、ご紹介します。

も東側に位置する集落です。もともとは、中作、平蔵地、言神の三地区から若者たちが踊り手として集まっていたようですが、現在では子どもたちがその任に就いています。

舞は、多くの獅子舞と共通点のあるもので、二匹の雄獅子が雌獅子をとりあつて戦い、一匹が勝利して一匹が破れるという恋愛物語となっています。

踊りは8つの場面にわかれていて「切り上げ」「宮まわり」「芝まわり」「雌獅子舞」「次郎獅子舞」「太郎獅子舞」「大切り」「けんか」「みやしがり」となっており、これがまとまって獅子の物語が完成しています。

都路の伝統のお祭り、そして新しいお祭り。都路を知るうえで、最初の1ページとなるのが、このふたつのお祭りであるような気がします。

あぶくま街道風物史

祭の灯は絶えず

事務局：〒979-1201 福島県双葉郡川内村大字上川内字八窪五〇八の2
E-Mail: info@abukuma-r.jp URL: http://abukuma-r.jp/
あぶくま浪漫チック街道構想推進協議会



竹と獅子と人と。 地域が生きている。

祭りは地域の原動力
アイデアと伝統を守る気持ちが
都路のこれからをかたちづくります

あぶくま ABURUMA ROMANTIC ROAD
ロマンチック街道



作業で切られたものなのです。

日が暮れるまでに、スタッフ、関係者、来訪者、そこに集ったすべての人が総出です。

このお祭り、都路伝説をつくる会が主体で、およそ10年ほど前に始まったもので、その歴史はまだ新しいのですが、いままでは田村市全域でも主要な祭りとして位置づけられています。開催は毎年8月第一土曜日。震災の年には開催ができませんでしたが、2012年には再開を果たし、震災復興のシンボルとしての意味合いも出てきた灯まつりです。

そして灯まつりとは対照的に、250年以上の伝統を持つのが岩井沢の三匹獅子です。無形文化財にも指定されていて、毎年11月3日に日鷲神社の祭礼に奉納されることになっています。岩井沢は、都路の中でもっと



都路は、田村市に属す、中通りの村落です。都路の南の川内と北側の葛尾が、それぞれ浜通りの村なのに対して、都路が中通りなのは不思議な気がします。田村市に編入する以前から、都路村は田村郡に属していて、あぶくま地域にあつて中通りの仲間とされていたのです。

あぶくまができたとき、都路は都路村でした。あぶくまは今では5市町村になっていますが、昔々は、飯館村、津島村、葛尾村、飯館村、川内村の5つの村だったのです。

そして都路村が田村市都路となり、このときに都路のアイデンティティを残そうと始まったのが、都路の灯祭りでした。

数万本の竹を地面に置いて一本一本灯をともししていきます。気が遠くなるような手作業です。そもそも地面に並べる竹も、手